

スマート農業推進フォーラム2022 in 東北 開催要領  
～「みどりの食料システム戦略」の実現に向けたスマート農業技術の活用～

1 開催目的

スマート農業技術は、令和3年5月に策定された「みどりの食料システム戦略」に貢献するものと期待されており、その社会実装をより加速化する必要がある。そのため、スマート農業実証プロジェクトで得られた成果やスマート農業技術に関する最新の情報について、農業者をはじめとした多くの関係者や関係機関が入手し、スマート農業技術への関心がより高められるよう、広く情報発信する機会を設ける。

2 開催日時

令和4年11月30日（水）13時10分～16時45分

3 開催場所

オンライン開催

4 内容

(1) 「スマート農業実証プロジェクト」令和3年度採択コンソーシアムによる事例紹介

- ① 東北地域のタマネギ生産の安定化と出荷連携体制の構築に向けた実証  
農研機構東北農業研究センター畑作園芸研究領域
- ② パブリカスマート商流実現と他社間連携による安定出荷体制の構築  
宮城県農政部園芸推進課
- ③ 通年対応型のスマート水管理による農村地域の減災・生物多様性保全機能向上の実証  
農研機構農村工学研究部門施設工学研究領域
- ④ カキ・モモの収穫適期判定と輸送環境管理技術を用いた長期輸送における品質保持を可能にするスマート輸出商流技術の実証  
株式会社世界市場

(2) 農業支援サービス事業者の取組事例紹介

ドローンによる空中散布防除について  
株式会社アルサ

(3) スマートサポートチームの紹介

- ① スマートサポートチームの活動について  
農林水産技術会議事務局研究推進課
- ② 東北管内でのスマートサポートチームの今後の取組  
テラスマイル株式会社

(4) スマート農業技術を活用した「みどりの食料システム戦略」に寄与する研究成果報告

- 農研機構東北農業研究センター水田輪作研究領域
- ① 農地周辺の土地利用情報を用いた斑点米被害予測とハザードマップ
  - ② 効率的な栽培管理に利用できる「農業気象見える化システム」
  - ③ 省力除草、安定生産の水田有機栽培体系の実証と支援アプリケーションの開発

5 スケジュール

- 13時10分～13時20分 開会、挨拶  
13時20分～14時40分 スマート農業実証プロジェクト事例紹介  
14時40分～15時10分 農業支援サービス事業者の取組事例紹介  
15時10分～15時45分 スマートサポートチームの紹介  
15時45分～16時45分 スマート農業技術に関する研究成果報告

6 参集範囲

スマート農業に関心のある者  
(農業者、農業者団体、民間企業、県・市町村、公設試験研究機関、報道機関 等)

7 参加可能人数

200名

8 共催

農林水産省、東北農政局、農研機構東北農業研究センター

9 協力

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

10 参加方法

Webによる事前登録

<https://www.maff.go.jp/tohoku/seisan/smart/221130.html>